

# 日本公認会計士政治連盟役員就任のご挨拶

当政治連盟は、3年に一度、役員改選を行っています。

2016年7月26日、3年間会長を務めた黒田克司前会長より森公高新会長にバトンが渡され、新役員が就任しました。  
役員就任のご挨拶を申し上げます。



会長 森公高

(日本公認会計士協会 役員歴)  
平成13年7月～平成22年7月 常務理事  
平成22年7月～平成25年7月 副会長  
平成25年7月～平成28年7月 会長

日本公認会計士政治連盟会長就任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、平素より、公認会計士制度の育成、発展に関わる政治連盟の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

## あるべき制度へ向けて強く意見を発信

さて、我が国の公認会計士制度は、1948年、昭和23年の公認会計士法の成立によりスタートし、記帳、税務相談・代理等の会計・税務業務を担ってきた計理士制度を引継ぎ、同時に、戦後の証券取引制度の整備の一環として、財務諸表監査制度の確立を目的として制定されたものです。資本市場の信頼性確保に対する公認会計士への期待は極めて高いものといえ、日本公認会計士協会の自主規制機能の強化をはじめとした資本市場における監査制度の整備改善は、我が業界が取組む重要課題です。

さらに、我が国は、経済再生と財政再建という大きな課題を抱えています。これらの課題は、全国民挙げて取組むべきものであり、

そのためには、国民一人一人がそれぞれの立場で経済社会の状況・情報を的確に把握・認識し、責任を持って行動できる仕組みが必要です。企業はもとより国・地方自治体や非営利組織においても、自らの経済活動について透明性を確保し、適正な情報を開示し、説明責任を果たし、経営の効率化へつなげることが求められており、これらを支える会計・監査のインフラ整備が必要となります。

公認会計士は、会計・監査の専門家として、企業等の様々な経済活動に向き合い、関係者を支えています。会計や監査の必要性・重要性を知る、実際の現場を知る公認会計士が、あるべき制度へ向けて強く意見

を発信し、改善を推進しなければなりません。また、それが社会からの期待であり、社会への責任であると考えています。

最後になりますが、政治連盟の活動基盤の強化が必要であり、本部と地方会の連携を密にし、地方会の一層の活動促進を図りたいと考えています。日本公認会計士協会は、タグラインとして「Engage in the Public Interest—社会に貢献する公認会計士」を掲げています。政治連盟においてもこのタグラインとともに、制度改善に向けた活動を推進していく所存です。皆様の倍旧のご理解、ご支援をお願いします。



幹事長 山田治彦

(日本公認会計士協会 役員歴)  
平成13年7月～平成16年7月 理事  
平成16年7月～平成25年7月 常務理事  
平成25年7月～現在 副会長

日本公認会計士政治連盟幹事長に就任しました山田治彦です。

## 公認会計士制度の維持・向上、理解浸透のために

ここ数年、日本公認会計士政治連盟の活動は従来に比べて活発化しました。私は本年7月まで副会長として租税を担当していましたが、先の税理士法改正の際には税理士業界に比べた場合の我が業界の政治力の乏しさを痛感するとともに、土壇場での全国の会員の皆様の一致団結した強力な行動力をも実感しました。薄水を踏む思いではありましたが、会員の皆様のご尽力により、何とか従来よりも安定した制度にすることができ

たと思っています。また、昨年の大手電機会社の案件を契機とした監査の信頼性に関する社会からの批判に関しては、政治連盟としても国会議員の方々に実情を正しく認識していただくために政治連盟会長、幹事長を中心に数多く説明に出向き、理解を得ていただくための活動を行ってきました。

監査業務が公認会計士法47条の2に基づき我々の独占的業務とされていること、また、公認会計士による監査が金融証券取引

法193条の2、会社法337条、私立学校振興助成法14条等に基づいていることからすれば我が業界はまさに規制業種です。我々の職域を守るためだけでなく、信頼性の高い資本市場あるいは透明性のある社会を実現するために制度を維持・向上させるための政治活動にも真摯に取り組む必要があります。

しかしながら、現在の政治連盟の活動は、全体の25%程度の会員がその運営費を負担しているに過ぎない状況となっています。会員の皆様に政治連盟の活動を正しくご理解いただき、さらに充実した活動を行っていきたく思います。

ご支援、ご協力を強くお願い申し上げます。



幹事長代行 井上東

(日本公認会計士協会 役員歴)  
平成22年7月～現在 常務理事

この度、日本公認会計士政治連盟幹事長代行を拝命いたしました井上東です。

私自身が政連の活動に本格的に取り組むようになったきっかけは税理士法改正問題です。この問題が話題になり始めた当初、

## 地域会、会員・準会員一人ひとりによる発信を

私は公認会計士が税法のプロであることは広く周知されており、歴史的にも公認会計士がその資格のみで税務業務を行うことは当然認められていることであることから、早晩収束するに違いないと思っていました。しかしながら、この問題は燎原の火のように広がりを見せ始めました。このままではいけない、この部分に変更を及ぼすことは将来に禍根を残し、さらに理不尽な改正を認めることは道義的にも許されないことであると判断し、一兵卒ながら、腹を決め、政治家への説明に奔走いたしました。

公認会計士協会はよく「お公家集団」と呼ばれますが、私からすると、「自らの業務に

日々真摯に取り組んでいれば世の中は必ず理解してくれるはずだ。」という健全な考え方を持つ集団であると思います。しかしながら、「日々真摯に取り組んでいる。」だけでは世の中に理解していただけないことも事実です。

政連の活動は地味であり、即効性のあるものではありませんが、我々の業界を健全に発展させるためには公認会計士制度を深く理解する政治家が多数必要です。

しかしながら、必ずしも我々の業界の実情について深く理解している政治家は決して多くありません。

我々はもっともっと多くの方々に我々の制度を知っていただく必要があります。

直接、国民の皆さんに対しPR活動を行うことも必要ですが、もっとも必要なのは立法府に携わり、常に国民と意見交換されている国会議員を始めとする政治家の皆様に対する説明です。

我々は決算書のアカウントビリティーに寄与するのみならず、制度に関してのアカウントビリティーも果たしてゆかねばなりません。

他の業界に比して人数の少ない我が業界においては、本部のみならず、地域会、会員・準会員お一人一人による発信が必要です。

皆様方には是非政連活動に強い関心を持っていただき、積極的に御参加いただけることを切にお願い申し上げます。

# 日本公認会計士政治連盟 懇親パーティ開催のご案内

日本公認会計士政治連盟では、公認会計士制度に対する国会議員のご理解を高めるため、下記の日時に多くの国会議員を招いて、「日本公認会計士政治連盟懇親パーティ」を開催いたします。諸事ご多用と存じますが、日程お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

- 日時：平成28年10月12日(水) 18時30分～20時 (事前説明会 当日18時15分～)
- 会場：ホテルニューオータニ 「芙蓉の間」  
東京都千代田区紀尾井町4-1 / TEL 03-3265-1111
- 参加費：無料 (交通費は自弁となります。)
- 申込方法：所属地域会・お名前をご記入の上、FAX又はメールにてご連絡ください。  
FAX 03-5226-3354 メール seiren@jicpa.or.jp

【お問合せ先】日本公認会計士政治連盟事務局 ☎ 03-3515-1155

## 活動報告

### 夏の議員会館挨拶廻り

平成28年8月8日

夏の議員会館挨拶廻りを実施した。衆議院議員、参議院議員の多数の事務所を4班に分かれて訪問。協会役員及び政連役員との交代挨拶とともに、本年10月12日に開催される政連パーティの案内を兼ねて挨拶廻りを行った。初めに参議院会館を回り、次は隣の衆議院第二議員会館へ移動、そして最後に衆議院第一議員会館へ回っていく。

1班は関根愛子協会会長、森公高政連会長、山田治彦幹事長、2班は鈴木昌治副会長、海野正副幹事長、湯川喜雄副幹事長、3班は柳澤義一副会長、浅井万富副会長、前原一彦副会長、4班は井上東幹事長代行、北方宏樹副幹事長に分かれて行った。国会が閉会中であり、ほとんどの議員が地元へ入られているとのことであったが、5名の議員にお会いすることができ、日本公認会計士協会の近況などについてご報告させていただいた。



大塚耕平参議院議員



杉久武参議院議員



魚住裕一郎参議院議員



牧島かれん衆議院議員



竹谷とし子参議院議員

## 囲む会のお知らせ

### 野田たけしを囲む公認会計士の会



- 日時：9月24日(土) 18:30～
- 会場：ホテル日航熊本 (熊本市中央区上通町)
- 会費：5,000円
- お問合せ：096-352-3737 (南九州会)

### 村井英樹を囲む公認会計士の会 (設立総会)



- 日時：10月14日(土) 18:00～
- 会場：浦和ロイヤルパインズ ホテル 3階 (さいたま市浦和区仲町)
- 会費：10,000円
- お問合せ：048-644-9050 (埼玉会)

## 政治連盟会費の納付について(ご協力のお願い)

—「預金口座自動振替」制度をご利用ください—

日本公認会計士政治連盟は、公認会計士、日本公認会計士協会準会員をもって構成されており、公認会計士の社会的地位の向上を図り、公認会計士制度を確立するために必要な活動を行っております。何卒、当政治連盟の活動にご理解を賜り、会費の納付にご協力くださいますようお願い申し上げます。(あずさ、あらた、新日本、太陽、トーマツの各監査法人所属の方々には、法人本部を通してお願いしております。)

∴ 政治連盟会費(年額) ∴

公認会計士12,000円

準会員1,200円

納付にあたりましては、4月下旬に送付しました「払込取扱票」をご利用ください。  
また、会費の納付に便利な「預金口座自動振替」制度(年1回引落し)をご利用ください。

【お問合せ】日本公認会計士政治連盟事務局 ☎ 03-3515-1155 FAX 03-5226-3354